

産業能率大学 経営学部

ミュージック・エンタテインメント	履修年次	2	
	単位	2	
谷口 元	配当期	前	
	授業方法	演習/ライブ	
<b>授業の内容</b>			
<p>[授業の概要] エンタテインメントビジネスの中核を占める「音楽」をテーマとして、ミュージック・エンタテインメント内部の業種を紹介し、それらが直面する業界動向、経営上の課題と今後の可能性を学習する。CD 販売の低迷とそれによる周辺産業への影響、新規事業のチャンスなどを考える。14回の講義のうち7回は現場の第一線で活躍されている音楽業界関係者を招聘し、またゲスト講師でカバーできない分野については実務経験のある担当教員よりレクチャーを行い、生の声を通して音楽産業全体を網羅する。</p> <p>[担当教員の実務経験] 総合エンタテインメント企業にて取締役を長年経験(海外戦略および知的財産戦略を担当)。また一般社団法人日本音楽著作権協会理事、一般社団法人日本音楽出版社協会会長、内閣府知的財産戦略推進本部コンテンツ強化専門調査会委員、MERLIN JAPAN ゼネラルマネージャーなどを歴任。</p> <p>[実務経験に基づく項目] レコード会社の現状とこれからの存在意義、著作権ビジネス、音楽産業のベースとなっている契約書、日本の音楽の海外展開とその将来性、作詞家・作曲家について、ストリーミングサービスなどの現状。</p>			
<b>この科目の到達目標</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・アーティストを支え、音楽のマネタイズを司る音楽ビジネスの、それぞれのプレイヤーの役割を理解できる。</li> <li>・音楽ビジネスのお金の流れと儲けの構造を理解できる。</li> <li>・パッケージから配信、所有からアクセス、といった音楽産業のビジネスモデルの変化を理解できる。</li> </ul>			
<b>成績評価の方法</b>			
授業出席、課題レポート、授業外学習、小テストで総合評価する。授業外学習は感想文ではなく、簡潔で論理的な記述を求める。			
週	授業項目	週	授業項目
1	授業の進め方、到達目標、評価基準の説明と、外部講師の紹介、音楽産業概論	8	音楽に新しい息吹を与える業種:ストリーミングサービスなどの現状を知る
2	著作権ビジネスに関する事業(音楽出版社、JASRACなど)を学ぶ	9	メディア、特に音楽番組の存在意義を学ぶ
3	レコード会社の現状とこれからの存在意義を考える	10	音楽とパフォーマンスの関係について学ぶ
4	アーティストやミュージシャンの特性を学ぶ	11	音楽の新しい楽しみ方を創出する新しいサービスを俯瞰する。
5	音楽ライブなどのイベントビジネスを学ぶ	12	イベントや他業種とのコラボレーションについて学ぶ
6	作曲家、作詞家について学ぶ	13	音楽産業のベースとなっている契約書について学ぶ
7	日本の音楽の海外展開とその将来性について学ぶ	14	授業全体の振り返りと課題レポートの作成